

基本的視点

将来的な町の総人口の減少は避けられない中、基礎自治体としての機能を維持し、また、地域の活力を向上させるため、次の2つの視点から人口減少に挑戦します。

① 「しごとをつくる」

町内への通勤者が多い本町においては、内発的産業の創出・育成により、地域での仕事（なりわい）を創り出すといった視点が重要となります。

② 「ひとを育てる」

地域での仕事があっても、地域で働く人がいないと持続可能性のある地域となりません。そのため、地域で働くための技を伝えるといった支援が必要となります。また、児童・生徒に対する地域教育を地域全体で進めることで、将来の本町の担い手となる人材を育てるといった中長期的な視点も重要となります。

計画期間

2021年～2024年の4年間とします。

推進体制

① PDCA サイクルの構築

具体的な施策ごとに重要業績評価指標（KPI※）を設定し、これらによって各施策の効果検証・改善を行う仕組み（PDCA サイクル）を構築します。

② 住民参加による推進

町民・有識者等を中心とした会議体を設け、達成度の検証を実施します。

※KPI（Key Performance Indicators）は、目標の達成度合いを計る定量的な（数値で表す）指標のこと

目指すべき方向性の柱

1. しらかわの宝ものをしごとに変える

近隣自治体との通勤移動が少ない本町においては、内発的産業を育成することにより、地域でのしごと（なりわい）を創り出すことが必要となります。そのためには、森林や河川などの豊かな自然、お茶やトマトなどの農業といった地域資源を活用し、また、ITや設計等の地域に縛られないしごとにより、地域で働くための技を伝える施策が必要です。起業・就業支援に対して十分な支援を行い、挑戦できる場所を提供していきます。

2. しらかわで あんきに子育て・あんきに暮らす

人口減少は当面避けられない現実です。子どもや高齢者、障がい者など地域で生活を営むあらゆる人が安心して生活できる環境づくりをソフト、ハード両面で進めていきます。

3. しらかわ人（びと）を育み しらかわを未来に伝える

将来の地域の担い手となる小中高校生に対する地域教育も重要と考えます。「ふるさと教育」を通じ、多くの人や自然、歴史、文化などへの関わりを深めることで郷土愛の醸成を図ります。その上で地域の課題にしっかりと向き合い、地域に対して何ができるかを自分なりに考え、この白川の地で仕事を創出することができる「しらかわ人（びと）」を育てていきます。

また、子ども達だけでなく、地域住民一人一人が地域の抱える課題に向き合い、何ができるかを考えていくことにより、地域の活力を生み出していきます。そうした取り組みを継続することで、白川の魅力を高めること、白川の地で仕事が生まれること、白川に人が集まることにつなげていきます。

4. しらかわへ行こう・しらかわへ帰ろう

移住・定住を推進するための体制を整備し、「白川に住みたい」「白川に戻りたい」という人の増加と実現のための障壁を取り除く取り組みを進めます。

白川町の強みである豊かな自然を活かした魅力ある観光を推進するため、町内の観光資源の発掘・充実・連携を図るとともに、周辺自治体とも連携し広域観光を進め、交流人口の拡大を図っていきます。また、できるだけ多くの人に、さまざまな形で本町に関わってもらい、その過程で白川ファンの増加を図っていきます。

主な施策

1. しらかわの宝ものをしごとに変える

施策①地域資源（緑）を活用した産業振興

- 1 担い手の育成と農地の保全
- 2 ふるさとの恵みを使った特産品づくり
- 3 白川茶の生産基盤を守る
- 4 農業関係施設の体制強化
- 5 森林整備の促進
- 6 森林資源の活用

KPI ・農地の集積率…20%

・GAP・JAS 認定団体数…8 団体

・木材搬出量…15,000 m³

・町内総生産（一人当たり）…2,830 千円

施策②挑戦できる場の提供（起業支援）

- 1 新規就農の推進
- 2 みんなのチャレンジ支援
- 3 働きたくなる情報の集約・発信
- 4 様々な働き方と暮らしの提案

KPI ・新規就農者数…27 人

・新規起業家数（担い手の数）…2 人

・サテライトオフィス誘致数…2 社

2. しらかわで あんきに子育て・あんきに暮らす

施策①生活支援(子育て支援・高齢者支援)の充実

- 1 途切れのない子育て支援・子育てしやすい環境づくり
- 2 高齢者が生きがいを持ちあんきに暮らせるまち
- 3 出合いサポートの推進

KPI ・子育て支援センター利用者数…2,500 人

・健康寿命（平均自立期間）…延伸

・出生数…30 人

施策②生活基盤の見直し・整備・拡充

- 1 地域の社会教育施設等の機能強化、見直し
- 2 誰もが気軽に「おでかけ」できるまち
- 3 あらゆる分野で最新技術を活用
- 4 安心を感じられる基盤づくり

KPI ・公共交通の年間利用者数…42,000 人

・白川町の強靱化度…53 点以上

・ICT を活用した取り組み件数…6 件

3. しらかわ人（びと）を育み しらかわを未来に伝える

施策①地域人材の育成・地域教育の充実

- 1 清流白川への回帰
- 2 大学との連携による人材育成
- 3 少人数のメリットを最大限活かす特色ある教育活動の推進
- 4 地域への愛着と誇りを育てるふるさと教育の推進

KPI ・子どもの良さを伸ばす経験の機会…60%

・地域行事への参加意欲…80%

・「ふるさと白川」のよさの認識…70%

・「ふるさと白川」の課題の認識…60%

・課題解決（持続可能な社会の実現）の意欲…50%

施策②地域コミュニティ活動の推進

- 1 みんなで地域をつくるまち
- 2 地域コミュニティの交流拠点の創造
- 3 地域を守るきずなの強化・支援

KPI ・自治会加入率…86%以上

・公民館講座参加人数…2,500 人

4. しらかわへ行こう・しらかわへ帰ろう

施策①移住や U ターンの促進

- 1 移住・交流の推進
- 2 空き家・空き店舗の有効活用
- 3 危険空き家の対策
- 4 地域人材のふるさと定着促進

KPI ・転入転出の差…△30 人

・空き家の解消…80 戸

・移住者の人数…120 人

施策②交流人口の拡大・白川ファンの増加

- 1 ふるさととつながる人口の増加
- 2 白川ファンの拡充
- 3 タウンプロモーションによる町の魅力向上
- 4 グリーンツーリズムの推進

KPI ・町内観光入込客数…273,400 人

・体験型プログラムによる宿泊者数…338 人

・町に関わりのある人口（応援人口）の数…2,140 人

・ふるさと納税の納税額…43,000 千円